

学科名	アパレル科	対象学年	1 年	分類	必修	科目区分	演習
科 目	平面構成理論 I					単位数	3
担当教員	本校教員		実務経験のある教員				
授業の到達目標及びテーマ							
服飾造形の基礎理論を基盤として、衣服製作に必要な製図の基本知識と技術を習得し、衣服の構造について理解することを目的とする。							
授業の概要							
基本パターンから工業用パターンに至るまでの製作過程を学び、各アイテムの基礎および応用を実践的に修得する。							
授業計画							
原型各部の名称 ダーツについて 補正法 ブラウス パンツ スカート ジャケット コート 衿・袖 } 各種							
テキスト							
『服飾造形の基礎』『スカート・パンツ』『ブラウス・ワンピース』『ジャケット・ベスト』『コート・ケープ』 (文化ファッション大系 文化服装学院編) 『パターンメイキング技術検定試験 3 級ガイドブック』((財) 日本ファッション教育振興協会) プリント							
学生に対する評価							
出席率、授業態度、製作課題、定期試験等により総合的に評価する。							

学科名	アパレル科	対象学年	2 年	分類	必修	科目区分	演習
科 目	平面構成理論Ⅱ					単位数	1
担当教員	本校教員		実務経験のある教員				
授業の到達目標及びテーマ							
平面構成理論Ⅰで修得した知識をもとに、製図理論および服飾造形の基礎知識を発展的に学び、より高度でデザイン性の高い衣服構造について理解を深めることを目的とする。							
授業の概要							
レディスおよびメンズの衣服を対象に、各アイテムの基礎から応用を実践的に修得する。デザインに応じたパターンメイキングを行う。							
授業計画							
メンズライクの二枚袖 デザインスリーブ デザインスカート デザインカラー メンズパンツ } 各種 見返しの種類 フード キャミソールトップ シャツブラウス メンズカジュアルシャツ ジャケット工業用パターン カッターシャツ工業用パターン ウェディングドレス 帽子							
テキスト							
『服飾造形の基礎』『スカート・パンツ』『ブラウス・ワンピース』『ジャケット・ベスト』『コート・ケープ』 （文化ファッション大系 文化服装学院編） 『パターンメイキング技術検定試験 2 級ガイドブック』（（財）日本ファッション教育振興協会） プリント							
学生に対する評価							
出席率、授業態度、製作課題、定期試験等により総合的に評価する。							

学科名	アパレル科	対象学年	1 年	分類	必修	科目区分	演習
科 目	平面構成実技 I					単位数	1
担当教員	本校教員		実務経験のある教員				
授業の到達目標及びテーマ							
被服構成実技で製作する規定細目のパターンを個々のデザインやサイズに合わせて引き、トワル組みをする。							
授業の概要							
各々のデザインに応じて、規定細目の実物パターンおよびトワル組みを行う。							
授業計画							
ストレーブラウス スカート パンツ コート							
テキスト							
『服飾造形の基礎』『スカート・パンツ』『ブラウス・ワンピース』『ジャケット・ベスト』『コート・ケープ』 (文化ファッション大系 文化服装学院編) 『パターンメイキング技術検定試験 3 級ガイドブック』((財) 日本ファッション教育振興協会) プリント							
学生に対する評価							
出席率、授業態度、製作課題等により総合的に評価する。							

学科名	アパレル科	対象学年	2 年	分類	必修	科目区分	演習
科 目	平面構成実技Ⅱ					単位数	2
担当教員	本校教員		実務経験のある教員				
授業の到達目標及びテーマ							
平面構成実技Ⅰで修得した知識をもとに、各種素材やデザイン、体型に応じたパターンを作成できる技術を身につけることを目的とする。							
授業の概要							
様々な素材や体型、デザインに応じたパターンメイキングの基礎から応用までを総合的に学ぶ。							
授業計画							
3面構成ジャケット 4面構成ジャケット カッターシャツ Tシャツ ファッションショー オリジナルブランドアイテム デザインアイテム							
テキスト							
『服飾造形の基礎』『スカート・パンツ』『ブラウス・ワンピース』『ジャケット・ベスト』『コート・ケープ』 (文化ファッション大系 文化服装学院編) 『パターンメイキング技術検定試験2級ガイドブック』((財) 日本ファッション教育振興協会) プリント							
学生に対する評価							
出席率、授業態度、製作課題等により総合的に評価する。							

学科名	アパレル科	対象学年	1 年	分類	必修	科目区分	演習
科 目	被服構成理論 I					単位数	3
担当教員	本校教員 外部講師 ※		実務経験の ある教員	○	※企業の方によるミシン操作法や、服飾 附属品についての指導		
授業の到達目標及びテーマ							
アパレル業界が求めるスペシャリストを育成するため、服作りの基礎となる縫製技術を学ぶ。基礎から応用まで、服作りに関するテクニックの習得を目指す。							
授業の概要							
ミシン操作方法、道具の扱い方、布地の特徴に合わせた縫製技術に関する基礎から応用までを学ぶ。							
授業計画							
ミシン工学 〈 操作方法・扱い方・直線縫い・ロックミシン応用 〉 体型研究 〈 採寸法 〉 服飾造形概論 基礎知識 〈 道具の扱い方・針、糸、生地、芯地 扱い方 〉 スカート 〈 教科書説明・仕様書 〉 ブラウス 〈 教科書説明・仕様書 〉 パンツ 〈 教科書説明・仕様書 〉 ジャケット 〈 教科書説明 〉 コート 〈 教科書説明・仕様書 〉 基礎知識 〈 手縫い手法・ボタン付各種 〉 部分縫い 〈 ポケット各種・ファスナー仕様・明き仕様 〉 定期試験 … 前期試験 後期試験							
テキスト							
『服飾造形の基礎』『スカート・パンツ』『ブラウス・ワンピース』 『ジャケット・ベスト』『コート・ケープ』（文化ファッション大系 文化服装学院編）							
学生に対する評価							
出席率、授業態度、製作課題、定期試験等により総合的に評価する。							

学科名	アパレル科	対象学年	2 年	分類	必修	科目区分	演習
科 目	被服構成理論Ⅱ					単位数	1
担当教員	本校教員 外部講師 ※	実務経験のある教員	○	※企業の方による特殊ミシンの操作についての技能指導			
授業の到達目標及びテーマ							
アパレル業界が求めるスペシャリストを育成するため、服作りの基礎となる縫製技術を学ぶ。部分縫いを中心に、素材の扱い方やアイロンのかけ方、縫製に関する知識、技術、技能の修得を目指す。							
授業の概要							
様々な素材や体型、デザインに応じたアイテムの縫製技術を、基礎から応用まで総合的に学び、実践力を身につける。							
授業計画							
カッターシャツ 〈 教科書説明・仕様書 〉 ジャケット 〈 教科書説明・仕様書・柄合わせ 〉 仮縫い方法 カットソー講習 オリジナルブランドアイテム 〈 仕様書・着装実験 〉 デザインアイテム 〈 仕様書・着装実験 〉 部分・基礎縫い 定期試験 … 前期試験 後期試験							
テキスト							
『服飾造形の基礎』『スカート・パンツ』『ブラウス・ワンピース』 『ジャケット・ベスト』『コート・ケープ』（文化ファッション大系 文化服装学院編）							
学生に対する評価							
出席率、授業態度、製作課題、定期試験等により総合的に評価する。							

学科名	アパレル科	対象学年	1 年	分類	必修	科目区分	演習
科 目	被服構成実技 I					単位数	8
担当教員	本校教員		実務経験のある教員				
授業の到達目標及びテーマ							
アパレル業界が求めるスペシャリストを育成するため、服作りの基礎となる縫製技術を体系的に学び、作品製作を通して実践的な応用力を身につける。							
授業の概要							
様々な基本のアイテムを製作し、素材選びから縫製技術を総合的に学ぶ。							
授業計画							
ストレーブラウス スカート パンツ コート コンテスト作品							
テキスト							
『服飾造形の基礎』『スカート・パンツ』『ブラウス・ワンピース』 『ジャケット・ベスト』『コート・ケープ』（文化ファッション大系 文化服装学院編）							
学生に対する評価							
出席率、授業態度、製作課題等により総合的に評価する。							

学科名	アパレル科	対象学年	2 年	分類	必修	科目区分	演習
科 目	被服構成実技Ⅱ					単位数	8
担当教員	本校教員		実務経験のある教員				
授業の到達目標及びテーマ							
アパレル業界が求めるスペシャリストを育成するため、服作りの基礎となる縫製技術を体系的に学び、作品製作を通して実践的な応用力を身につける。							
授業の概要							
様々な基本のアイテムを製作し、素材選びから縫製技術を総合的に学ぶ。							
授業計画							
カッターシャツ チェックジャケット 外部コラボレーションアイテム オリジナルブランドアイテム デザインアイテム							
テキスト							
『服飾造形の基礎』『スカート・パンツ』『ブラウス・ワンピース』 『ジャケット・ベスト』『コート・ケープ』（文化ファッション大系 文化服装学院編）							
学生に対する評価							
出席率、授業態度、製作課題により総合的に評価する。							

学科名	アパレル科	対象学年	2 年	分類	必修	科目区分	実習
科 目	ファッションショー企画制作演習					単位数	4
担当教員	本校教員 舞台演出家 ※	実務経験のある教員	○	※演出家の先生から、ショーの演出や作品の魅せ方について直接指導を受ける。			
授業の到達目標及びテーマ							
創立記念ファッションショーの作品制作を行う。 テーマ決めから舞台演出、ヘアメイクなどあらゆる事柄を考え、一人1体個人作品を完成させる。							
授業の概要							
各自が選んだテーマに基づきコンセプトブックを作成し、デザイン考案、モデルに合わせたパターンメイキング、トワル組みを行った上で、ファッションショー作品を制作する。							
授業計画							
ファッションショープレゼンテーション ガイダンス コンセプトブックを作成 デザイン画 パターンメイキング・トワル組み 作品制作 演出打ち合わせ 衣装合わせ フィッティング練習 リハーサル 本番 表彰式							
テキスト							
『服飾造形の基礎』『スカート・パンツ』『ブラウス・ワンピース』 『ジャケット・ベスト』『コート・ケープ』（文化ファッション大系 文化服装学院編）							
学生に対する評価							
出席率、授業態度、作品により総合的に評価する。							

学科名	アパレル科	対象学年	1 年	分類	必修	科目区分	演習
科 目	パターンメイキング I					単位数	3
担当教員	本校教員	実務経験のある教員					
授業の到達目標及びテーマ							
アパレル分野における基本的なアイテムや、ディテールの基本段階のパターンメイキングを理解する。 パターンメイキング技術検定 3 級取得。							
授業の概要							
アイテムごとに、基礎からパターンメイキングの方法を学ぶ。 パターンメイキング技術検定試験 3 級取得対策を行う。							
授業計画							
スカートのパターンメイキング ブラウスのパターンメイキング ダーツの移動と分散 グレーディング 衿のパターンメイキング 袖のパターンメイキング 工業用パターンメイキング 工業用パターン記号 定期試験 … 前期試験 後期試験							
テキスト							
『スカート・パンツ』『ブラウス・ワンピース』（文化ファッション大系 文化服装学院編） 『パターンメイキング技術検定試験 3 級ガイドブック』（(財) 日本ファッション教育振興協会） プリント							
学生に対する評価							
出席率、授業態度、製作課題、定期試験等により総合的に評価する。							

学科名	アパレル科	対象学年	2 年	分類	必修	科目区分	演習
科 目	パターンメイキングⅡ					単位数	4
担当教員	本校教員		実務経験のある教員				
授業の到達目標及びテーマ							
衣料製品の基礎知識を学び、デザインに応じたパターンへの応用を学ぶ。 パターンメイキング技術検定 2 級取得。							
授業の概要							
ジャケットをはじめ、様々な平面製図の基礎から応用までを学ぶ。 工業用パターンメイキングについて学ぶ。							
授業計画							
ジャケットの基本パターンメイキング 3 面構成ジャケットのパターンメイキング 4 面構成ジャケットのパターンメイキング 衿・袖のパターンメイキング グレーディング デザインスカートのパターンメイキング 続き袖のパターンメイキング メンズシャツ・パンツのパターンメイキング 定期試験 … 前期試験 後期試験							
テキスト							
『スカート・パンツ』『ブラウス・ワンピース』『ジャケット・ベスト』『コート・ケープ』（文化ファッション大系 文化服装学院編） 『パターンメイキング技術検定試験 2 級ガイドブック』（（財）日本ファッション教育振興協会） プリント							
学生に対する評価							
出席率、授業態度、製作課題、定期試験等により総合的に評価する。							

学科名	アパレル科	対象学年	1 年	分類	必修	科目区分	演習
科 目	ドレーピングⅠ					単位数	3
担当教員	本校教員		実務経験のある教員				
授業の到達目標及びテーマ							
ドレーピングについての基礎的な知識と技術を身につける。							
授業の概要							
工業用ボディに合わせ、各種デザインスカートのドレーピングについて学ぶ。							
授業計画							
ドレーピングとは シーチング地直し スカート原型 ストレートスカート フレアースカート A ラインスカート 定期試験 … 前期試験 後期試験							
テキスト							
『パターンメイキング技術検定試験 3 級ガイドブック』（(財) 日本ファッション教育振興協会） 『服飾造形の基礎』（文化ファッション大系 文化服装学院編）							
学生に対する評価							
出席率、授業態度、製作課題等により総合的に評価する。							

学科名	アパレル科	対象学年	2 年	分類	必修	科目区分	演習
科 目	ドレーピングⅡ					単位数	4
担当教員	永井 奈央	実務経験のある教員	○	アパレル会社のパタンナーとして培った知識・技術を教授する。			
授業の到達目標及びテーマ							
人体を立体的に見る目を養う。							
授業の概要							
基本シルエットを作り、理論的に袖を理解し、ドレーピングで袖付けをする。 ドレーピングの基本動作を通して、平面構成と立体構成の関係性を理解する。							
授業計画							
サイドダーツブラウス（肩ダーツ） ヨーク付きストレートブラウス（AHダーツ） 半袖・長袖 フラットカラー シャツカラー 台衿付きシャツカラー 定期試験 … 前期試験 後期試験							
テキスト							
『パターンメイキングの原理』大野順之助著							
学生に対する評価							
各アイテムの完成度 50％ 定期試験 50％							

学科名	アパレル科	対象学年	1 年	分類	必修	科目区分	演習
科 目	ファッションデザイン画 I					単位数	4
担当教員	平畑 薫	実務経験のある教員	○	アパレル会社で企画・デザイナーとして培った知識・技術を教授			
授業の到達目標及びテーマ							
デザイン画の基礎を習得し、想像力や表現力を身につける。							
授業の概要							
人体の構造、素材、ファッションアイテムなど、様々なデザイン画の描法を学ぶ。							
授業計画							
顔（正面・横・斜め）とヘアスタイル 画材の種類と使い方 8頭身プロモーション 正面ポーズと着装 バックスタイルとハンガーイラスト 応用ポーズと着装 フレア・プリーツ・ギャザーの描法 S S 素材の描法 AW素材の描法 柄の描き分け（ニット・チェック柄・ファー） メンズ・キッズ 実習コートデザイン画 トренд写真からのデザインアレンジ デザイン出し コンテストデザイン画 顔とコラージュ ハンガーイラスト ・スカート・ブラウス・ワンピース・パンツ ・AWトレンドアイテム・コート・ジャケット 写真スケッチ 定期試験 … 前期試験 後期試験							
テキスト							
『ファッション画 ビギナーズ超速マスター』（グラフィック社） 『ファッションデザインテクニック』『スーパーファッションデザイン 基本ポーズ』							
学生に対する評価							
試験の結果 30% 提出物 40% 授業態度・取組意欲 30%							

学科名	アパレル科	対象学年	2 年	分類	必修	科目区分	演習
科 目	ファッションデザイン画Ⅱ					単位数	4
担当教員	中島 奈緒子	実務経験のある教員					
授業の到達目標及びテーマ							
デザイン画の技術を伸ばし、想像力や表現を養う。							
授業の概要							
就職活動、コンテストに対応したデザイン画の描法を学ぶ。							
授業計画							
トレンドと素材の描法 基本ポーズ 応用ポーズ コンテスト応募課題 写真スケッチ ポートフォリオについて 早描き練習 デザイン発想…さまざまなテーマを多面的に捉え、オリジナルデザインを考える ハンガーイラスト ブラウス・スカート・パンツ・ニット・コート・ジャケット 定期試験 … 前期試験 後期試験							
テキスト							
『ファッションドローイングテクニック』（織研新聞社）							
学生に対する評価							
試験の結果30% 提出物 40% 授業態度・取組意欲 30%							

学科名	アパレル科	対象学年	1 年	分類	必修	科目区分	実習
科 目	被服材料学 I					単位数	1
担当教員	野田 梓織	実務経験のある教員	○	アパレル企業の勤務経験から、ビジネスに必要な様々な知識を教授する。			
授業の到達目標及びテーマ							
アパレルデザインを商品化する上で、重要な素材の知識を習得し、適切な素材選定をするための素材の特性を理解する。							
授業の概要							
繊維の構造を理解し、それぞれの特性を生かした用途について考案する。							
授業計画							
繊維の分類 ・天然繊維 ・化学繊維 編物の構造 ・種類・特徴 編物の成型 ・縫製方法 高機能素材の用途 布地の加工技術方法と目的 素材の特性とデザイン 素材の最近の傾向とトレンド マテリアルセンター見学・講習 トヨタ産業記念館 定期試験 … 前期試験 後期試験							
テキスト							
『表生地標本集』（文化学園文化事業局） 『ファッション販売 3』（財団法人日本ファッション教育振興協会） プリント							
学生に対する評価							
出席率、授業態度、作品により総合的に評価する。							

学科名	アパレル科	対象学年	2 年	分類	必修	科目区分	演習
科 目	被服材料学Ⅱ					単位数	1
担当教員	野田 梓織	実務経験のある教員	○	アパレル企業の勤務経験から、ビジネスに必要な様々な知識を教授する。			
授業の到達目標及びテーマ							
アイテム・シーズン・デザインにあわせて適切な素材を選定するために必要なアパレル素材について知識をさらに深める。							
授業の概要							
素材を年間の時系列で把握し、マップを作製することにより、アパレル素材の特性と展開時期の理解を深める。							
授業計画							
① 天然素材 ・綿とウールの織物についての知識をさらに深める ・組成別生地と生地名 ②アイテム別素材時系列 ・マップ作り ・ジャケット ・ワンピース ・シャツ ブラウス ③製品デザインと素材 ④素材傾向とトレンド 定期試験 … 前期試験 後期試験							
テキスト							
・制作資料の配布 ・アパレルブランドのファブリックと製品サンプル							
学生に対する評価							
出席率、授業態度、製作課題、定期試験等により総合的に評価する。							

学科名	アパレル科	対象学年	1 年	分類	必修	科目区分	演習
科 目	カラーコーディネートⅠ					単位数	2
担当教員	平畑 薫	実務経験のある教員	○	アパレル会社で企画・デザイナーとして培った知識・技術を教授			
授業の到達目標及びテーマ							
ファッションにおける色について基本の用語、配色、心理、表現方法を習得する。 ファッション色彩能力検定 3 級取得							
授業の概要							
色彩に関する知識から色彩運用スキルまで、 カラーコーディネートの基礎と応用を広げる理論を展開する。							
授業計画							
① 概論—色彩のはたらき 生活における色彩はたらき ファッションにおける色彩の役割 ② 色彩の体系 色の三属性 ヒュー&トーン 色相環（20 色相） カラーリース制作〈演習〉 ③ 色彩理論—基礎 色の成り立ち 光と色 三原色と混色 視覚と色 色彩と心理 ④ 色彩の技術 配色の基礎 色彩構成の基礎 ⑤ ファッション産業と色彩 ファッション産業における色彩の役割 企画・生産・流通段階の色彩 定期試験 … 前期試験 後期試験							
テキスト							
『ファッション色彩Ⅰ』（（財）日本ファッション教育振興協会）							
プリント							
学生に対する評価							
出席率、授業態度、課題提出、定期試験（前期・後期）等により総合的に評価する。							

学科名	アパレル科	対象学年	2 年	分類	必修	科目区分	演習
科 目	カラーコーディネートⅡ					単位数	1
担当教員	本校教員		実務経験のある教員				
授業の到達目標及びテーマ							
カラーコーディネートⅠからファッションのプロを目標に色を取り扱う。 ファッション色彩能力検定 2 級取得							
授業の概要							
カラーコーディネートⅠで修得した基礎理論を掘り下げ、ファッション業界を想定した色彩テクニックや活用方法を学びます。 企画から販売、流通にいたる実務を想定し活用する応用的考え、手法を修得します。							
授業計画							
① 概論—産業における色彩 ・商品価値としての色彩 ・他商品との差別化 ・店頭売れ筋カラーとスタイリング ・色彩とコミュニケーションは注意を引く—記憶に残す—イメージを喚起する ② 色彩理論—光、視覚、心理 ・光と色 ・色の三属性と光—三属性の一つが変化すると他の要素はどの様に見える ・眼の誕生—若さと老い ・色覚説 ・ヤング＝ヘルムホルツの三色説 ③ 色彩体系—色名とカラーシステム ・色名とは ・三属性による色の表示方法 ・標準色票 ・ファッション分野のための色見本 ④ 配色と色彩調和 ・流行配色とは ・8 タイプの流行配色の制作 ・色彩調和論 ・ファッションイメージとカラーコーディネーションの制作（演習） ⑤ ファッション産業における色彩計画 ・情報としての色彩は何故必要か ・色彩情報のソース ・商品企画における色彩計画の立案、その手法と展開 カラーのマーケットリサーチ ・生産段階、販売の色彩計画 ・パーソナルカラー / 春夏秋冬の解説と似合う色とは							
定期試験 … 前期試験 後期試験							
テキスト							
『ファッション色彩Ⅱ』（（財）日本ファッション教育振興協会）プリント							
学生に対する評価							
出席率、授業態度、製作課題等により総合的に評価する。							

学科名	アパレル科	対象学年	1 年	分類	必修	科目区分	演習
科 目	基礎デザイン					単位数	3
担当教員	本校教員		実務経験のある教員				
授業の到達目標及びテーマ							
コンセプトを具体的かつ制作可能なデザインに展開するための手法とプロセスの修得をテーマに、その表現媒体、すなわち作品発表の場における時間・空間・装置・観客を意識した企画・提案力を身につけることを目標とする。							
授業の概要							
本演習における立案行為はステージ発表を想定した広範囲なデザイン実践であることを認識し、個別の課題に対して提案・ディスカッション・決断を繰り返しながら、チームとしての総合力を発揮して解決策を導き出していく姿勢が大切である。 具体的内容は、(1) ショーテーマ・シーンコンセプトを理解する (2) デザイン展開の手法とプロセスを検討する (3) チームワークの重要性を認識して他者との合意形成を図り、解決策を採る (4) 発表の場を意識したプレゼンテーションを実施する。							
授業計画							
01 ショーイメージの確認 02 ガイダンス／スケッチブック解説 03 チーム編成 04 デザインリサーチⅠ 05 デザインリサーチⅡ 06 チームコンセプトⅠ 07 チームコンセプトⅡ 08 個人デザイン画制作 09 個人デザイン画プレゼン 10 コレクションプラン・ミーティング 11 コレクションプラン・リサーチ 12 スケッチブック・チェック 13 コレクションプラン（チームデザイン）決定 14 素材選定／プロトタイピング（サンプル制作） 15 コーディネートプラン／演出プラン決定 16 プレゼンツール制作Ⅰ 17 プレゼンツール制作Ⅱ 18 授業内プレゼン 19 プレゼン修正 20 学内プレゼン／講評							
テキスト							
作成資料の配布							
学生に対する評価							
受講態度 50% 制作作品（スケッチブック）、プレゼンテーション 50%							

学科名	アパレル科	対象学年	2 年	分類	必修	科目区分	演習
科 目	産業デザイン					単位数	2
担当教員	野田 梓織	実務経験のある教員	○	アパレル会社の MD を経験して培った知識を教授する。			
授業の到達目標及びテーマ							
アパレル業界の現在の環境変化を反映するマーチャンダイジングの立案とそのプレゼンテーション計画。							
授業の概要							
アパレルデザインの実施。 ターゲットの顧客が「いつ」「どこで着用か」を想定し、シーズンコンセプトカラー、ファブリック、スタイリング、アイテム展開の基本計画書を作成する。							
授業計画							
1. ファッション業界に提案企画するフォーマット制作 2. 先行するブランド、マーケット環境の情報入手と分析 3. ファッションマーケット動向の調査とサムシングニューの発見 4. アパレルブランドの創出に向け、独自性のブランド提案をする ・計画書作成 ①ブランドイメージの創出と確認 ②オリジナルコンセプト、キーワードとターゲットを座標軸で設定 ③ブランド名とブランドルーツの明確化 ④スタートアップする時期、シーズンの明確化 ⑤ブランドのトータルスタイリングとアイテムデザイン展開 ⑥カラー展開とファブリック展開のイメージ企画書作成 ⑦ターゲット顧客層、イメージをプライスライン編入させ作成							
テキスト							
・制作資料の配布 ・国内外のブランド創出企画と展開、プレゼン手法							
学生に対する評価							
題意把握 20% 内容構成 10% 論理性 20% 論拠明示 10% 独 自 性 20% 表現の明瞭正確さ 20%							

学科名	アパレル科	対象学年	1 年	分類	必修	科目区分	演習
科 目	コンピューターグラフィックス I					単位数	2
担当教員	本校教員		実務経験のある教員				
授業の到達目標及びテーマ							
アパレル業界において広く利用されている、Adobe ソフトの使用方法を学習する。 コンピューターによるデザインやプレゼンテーション資料作成のスキルを基礎から順次学習し、実践力を高める。							
授業の概要							
デザイン画や縫製仕様書、プレゼンテーションの資料作成を、Adobe の Illustrator や Photoshop、Microsoft の Power point を使用して行う。							
授業計画							
【Illustrator】 基本操作 トレース ハンガーイラスト作成 仕様書作成 【Photoshop】 基本操作 写真素材の加工 スタイル画の着色 マップ作成 【PowerPoint】 プレゼン資料作成							
テキスト							
プリント							
学生に対する評価							
提出物 50% 取組姿勢 30% プレゼン 20%							

学科名	アパレル科	対象学年	2 年	分類	必修	科目区分	演習
科 目	コンピュータグラフィックスⅡ					単位数	1
担当教員	本校教員		実務経験のある教員				
授業の到達目標及びテーマ							
コンピュータグラフィックスを利用し、アパレル業界で必須の Adobe ソフトの使用 方法を習得し、活用することを目標に、実践を交えて学習する。							
授業の概要							
AdobeIllustrator・Photoshop を使用して、デザイン画 仕様書 イメージマップ等の 作成方法を学ぶ。							
授業計画							
【Illustrator】 テーラードジャケット・カッターシャツ縫製仕様書作成 ・ハンガーイラスト作成 ・縫製仕様図作成 ・テキスト入力 スタイリングシート作成 ・ハンガーイラスト作成 ・オリジナルパターン作成 デザイン画作成 【Photoshop】 イメージマップ・デザイン画作成 ・デザイン画着色・加工 ・写真素材の加工・合成 定期試験 … 前期試験 後期試験							
テキスト							
プリント							
学生に対する評価							
出席率、授業態度、製作課題、定期試験等により総合的に評価する。							

学科名	アパレル科	対象学年	2 年	分類	必修	科目区分	演習
科 目	アパレルC A D／C L O					単位数	1
担当教員	山田 秀子	実務経験のある教員	○	アパレル企業のC A Dオペレーター勤務の経験からC A Dシステムの操作法を教授する。			
授業の到達目標及びテーマ							
入力作業からパターンメイキング・パターン展開を中心に、グレーディング、マーキングまでの基本的操作を習得する。							
授業の概要							
カットソー・ジャケット・カッターシャツのパターン制作の実践。 グレーディング、マーキングの基礎を学ぶ。							
授業計画							
アパレルC A Dの説明 カットソー ・スキャナー、デジを使用し入力作業 ・パターンメイキング ・出力 ジャケット ・パターンメイキング ・縫い代付け カッターシャツ ・パターンメイキング ・縫い代付け ・出力 グレーディング マーキング CLO Enterprise 説明・デモ							
テキスト							
学校独自教材							
学生に対する評価							
授業態度・取組意欲 70％ 理解度 30％							

学科名	アパレル科	対象学年	1 年	分類	必修	科目区分	演習
科 目	マーケットリサーチ I					単位数	1
担当教員	野田 梓織	実務経験のある教員	○	アパレル会社の MD を経験して培った知識を教授する。			
授業の到達目標及びテーマ							
アパレル企業におけるマーケットリサーチの基礎から実践までを学ぶ。ファッション業界の特性を理解し、売れる商品・ブランドをつくるための思考力と実践力を養う。							
授業の概要							
アパレル業界が求める企業人としての必要な知識である消費者の行動やニーズ、市場のトレンドなどをリサーチを通し理解する。							
授業計画							
マーケットリサーチとは 競合分析・ブランドポジショニング 2026 S/S A/W店頭観察・SNS リサーチ マーケットリサーチ（東京研修）							
テキスト							
プリント							
学生に対する評価							
出席率、課題提出							

学科名	アパレル科	対象学年	2 年	分類	必修	科目区分	演習
科 目	マーケットリサーチⅡ					単位数	1
担当教員	野田 梓織	実務経験のある教員	○	アパレル会社の MD を経験して培った知識を教授する。			
授業の到達目標及びテーマ							
アパレル企業におけるマーケットリサーチの基礎から実践までを学ぶ。ファッション業界の特性を理解し、売れる商品・ブランドをつくるための思考力と実践力を養う。							
授業の概要							
アパレル業界が求める企業人としての必要な知識である消費者の行動やニーズ、市場のトレンドなどをリサーチを通し理解する。							
授業計画							
競合分析・ブランドポジショニング 2026 S/S A/W店頭観察・SNS リサーチ							
テキスト							
プリント							
学生に対する評価							

学科名	アパレル科	対象学年	1 年	分類	必修	科目区分	演習
科 目	ファッションビジネス I					単位数	2
担当教員	野田 梓織	実務経験のある教員	○	アパレル会社の MD を経験して培った知識を教授する。			
授業の到達目標及びテーマ							
ファッション企業が求める企業人としての必要な知識の基礎を学ぶ。							
授業の概要							
ファッションビジネス業界の特性、現状。アパレル生産から消費までのプロセス							
授業計画							
ファッションビジネスの特性 ファッション生活 ファッション消費 ファッションを取り巻く現状 ファッション産業の構造と現状 ファッションマーケティングとは ファッションマーチャндаイジングとは ファッションアパレル産業と物流・流通の現状 2025 S/S A/W マーケットリサーチ アパレル小売業とグローバル化 ビジネス基礎知識・計数知識 ファッション造形知識 デザイン文化・コーディネート・スタイリング F B 2 級検定対策 計数知識 定期試験 … 前期試験 後期試験							
テキスト							
『ファッションビジネス 1』（財団法人日本ファッション教育振興協会） プリント							
学生に対する評価							
出席率、授業態度、定期試験等により総合的に評価する。							

学科名	アパレル科	対象学年	2 年	分類	必修	科目区分	演習
科 目	ファッションビジネスⅡ					単位数	2
担当教員	野田 梓織	実務経験のある教員	○	アパレル会社の MD を経験して培った知識を教授する。			
授業の到達目標及びテーマ							
リアルマーケットをベースに日本のアパレル市場における企画・立案力を修得する。							
授業の概要							
ファッションビジネスの特性と役割を具体的に提案し、意欲的な参加意識を深める。							
授業計画							
ファッションマーケティング ・マーケティング戦略 ・ブランドコンセプトとブランディング ・ターゲット市場の選定 ②ファッションマーチャндаイジング ・アパレル MD と商品開発の手法 ・商品構成と売り場展開 ③トレンド分析 ・2026 S/S A/W のトレンド分析 ・トレンドを活かした商品開発の手法 ④計数知識（FB2 級対策） 定期試験 … 前期試験 後期試験							
テキスト							
『ファッションビジネスⅡ』（財）日本ファッション教育振興協会） 制作資料 国内外ブランドの企画立案書とデザイン							
学生に対する評価							
出席率、授業態度、定期試験等により総合的に評価する。							

学科名	アパレル科	対象学年	1 年	分類	必修	科目区分	実習
科 目	服装史					単位数	1
担当教員	中田 純子	実務経験のある教員	○	アパレル企業の勤務経験から、ビジネスに必要な様々な知識を教授する。			
授業の到達目標及びテーマ							
人が服飾美を追究してきた歴史を学び、現代社会における服飾の文化的役割を考える。							
授業の概要							
主として西洋の服飾の変遷をたどり現在の服飾の成り立ちを知る。							
授業計画							
古代～中世 ・洋服の成立と変遷 近世～近代 ・社会の変動と服装の関係 ・流行の始まり 現代 ・トレンドの変遷と活躍したデザイナー ・ファッションの現在 定期試験 … 後期試験							
テキスト							
『ファッション史 改訂版 - 西洋服装史概説 -』（文化学園文化事業局） プリント							
学生に対する評価							
出席率、授業態度、作品により総合的に評価する。							

学科名	アパレル科	対象学年	1 年	分類	必修	科目区分	演習
科 目	特別講習 I					単位数	1
担当教員	本校教員		実務経験のある教員				
授業の到達目標及びテーマ							
早期からキャリア意識を高めることを目的とし、就職ガイダンスや企業説明会、卒業生の講演を通して進路や働くことへの理解を深め、自身の興味・関心を見つめる力を養う。 また、工場見学やインターンシップ（希望者）により職業観を育成し、将来の進路について主体的に考え行動できる基礎力を身につける。各種コンテスト説明会では、ポイントを学ぶことでより目的を明確にし、コンテスト参加を通して実践力を身に付ける。							
授業の概要							
学生の適性に合った職業を選ぶために多角的なキャリア支援プログラムを実施する。 また、インターンシップや工場見学を通して実際の職場環境や業務内容を体験・理解し、職業観の育成を図る。 さらに、各種コンテスト説明会では、専門性の向上と実践力の育成を目指す。							
授業計画							
就職ガイダンス 学内企業説明会 卒業生による就職講演会 インターンシップ（希望者） 各種コンテスト 説明会 Y K K 実演・講演会							
テキスト							
学生に対する評価							
出席率、授業態度、レポート等により単位認定する。							

学科名	アパレル科	対象学年	2 年	分類	必修	科目区分	演習
科 目	特別講習Ⅱ					単位数	2
担当教員	本校教員	実務経験のある教員					
授業の到達目標及びテーマ							
就職活動の基礎知識や社会の動向を理解し、将来の進路について主体的に考える力を身につける。業界・企業理解を深め、自身の適性や目標を明確にできることを目標とする。また、実社会との接点を持ち、実践力・協働力・表現力の向上を図る。							
授業の概要							
学生のキャリア形成を支援し、将来の進路選択に向けた意識を養うことを目的とする。就職ガイダンスや説明会では、就職活動の流れや心構えを学び、業界・企業理解を深める。さらに、希望者を対象としたインターンシップにより実務を体験し、職業観を育成する。また、企業コラボレーション説明会や各種コンテスト説明会では、産学連携の意義や挑戦のポイントを学び、主体的に行動する姿勢と実践力の向上を図る。							
授業計画							
就職ガイダンス 学内企業説明会 卒業生による就職講演会 インターンシップ（希望者） 企業コラボレーション 説明会 各種コンテスト 説明会							
テキスト							
学生に対する評価							
出席率、授業態度、レポート等により単位認定する。							

学科名	アパレル科	対象学年	1 年	分類	必修	科目区分	実習
科 目	生活実習・社会学Ⅰ					単位数	2
担当教員	本校教員	実務経験のある教員					
授業の到達目標及びテーマ							
校外での舞台や作品展、美術展等の見学を通して、文化や芸術に直接触れ、実物を見ることで感性を高める。得られた体験や気づきから、アパレル業界で活かすことのできる力を養う。							
授業の概要							
学生の学びを充実させることを目的とし、文化や芸術に直接触れる校外学習を実施する。舞台や作品展、美術展等を見学し、実物を通して体感的に学ぶ。							
授業計画							
ナゴヤファッションコンテスト観覧 校外研修（文化服装学院 文化祭 他） 芸術鑑賞 マテリアルセンター講演会 工場見学							
テキスト							
学生に対する評価 出席率、レポート等により単位認定する。							

学科名	アパレル科	対象学年	2 年	分類	必修	科目区分	実習
科 目	生活実習・社会学Ⅱ					単位数	1
担当教員	本校教員		実務経験のある教員				
授業の到達目標及びテーマ							
校外での舞台や美術展等の見学を通して、文化や芸術に直接触れ、実物を見ることで感性を高める。得られた体験や気づきから、アパレル業界で活かすことのできる企画力・表現力・創造力へと発展させる力を養う。							
授業の概要							
学生の学びを充実させることを目的とし、文化や芸術に直接触れる校外学習を実施する。舞台や作品展、美術展等を見学し、実物を通して体感的に学ぶ。							
授業計画							
芸術鑑賞 校外研修 マテリアルセンター講演会							
テキスト							
学生に対する評価							
出席率、レポート等により単位認定する。							